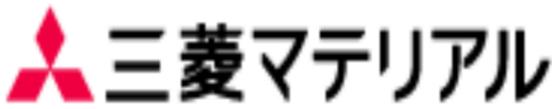


製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゆ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゆ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！



チタン合金加工用カッタ拡充

ASPXシリーズにHSK一体形を追加発売 制振設計&低切削抵抗で安定加工実現 難削材のチタン合金を高能率加工可能

**制振設計 + 低切削抵抗
安定した高能率加工可能**

三菱マテリアル 加工事業カンパニー（東京都千代田区丸の内、カンパニープレジデント：田中 徹也氏）は、このほどチタン合金加工用カッタ「ASPXシリーズ」にHSK一体形を追加し、発売を開始した。

チタン合金カッタ ASPXシリーズ

チタン合金加工用カッタ「ASPXシリーズ」は、難削材のチタン合金を高能率で加工する刃先交換式のミーリングカッタ。最新切削理論に基づいて算出した、それぞれ異なる最適な不等分割の各段インサート配置により、ビビ

DIA EDGE

リ振動を抑制するなど制振設計+低切削抵抗により、安定した高能率加工を可能にする。

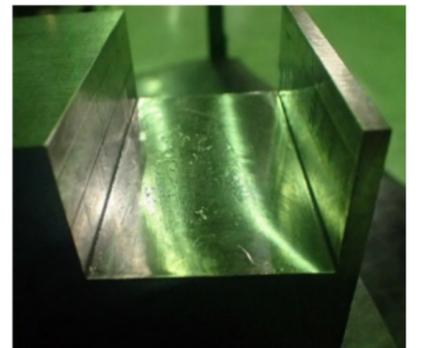
また、インサート切れ刃すくい面へコントロールされたクーラントにより、キレイにカールした切りくずを効率よく排出する。インサートは大きなすくい角とチタン加工に最適な刃先処理（ホーニング）により、低切削抵抗でかつ耐欠損性に優れている。

さらに、難削材転削加工用PVDコーテッド超硬材種MP9140は、耐欠損性が極めて高い強靱な超硬合金母材と、耐溶着性に優れた表面が平滑なコーティングの組み合わせにより、安定した長寿命加工を実現する。



**難削材のチタン加工で
驚異の高効率加工可能**

航空機のランディングギア部品や構造部品には、加工が難しいチタン合金が多用されているほか、また、部品自体も大きいので、切削加工による切りくず除去量が多く、複合加工機による高能率加工の需要が増加しており、



市場では専用の高能率加工工具が求められている。同社はこうした市場ニーズに応え、今回、高能率切削が可能なチタン合金加工用カッタ「ASPXシリーズ」にHSK一体形を新たに開発し、発売を開始した。

チタン合金加工用カッタ ASPXシリーズHSK一体形

新たにASPXシリーズのラインナップに加わったHSK一体形は、高剛性なHSKシステムと一体形にすることにより、最大切り込み量を大きくすることができる。最新切削理論に基づいて算出した、最適な不等分割の各段インサート配列により、びびり振動を抑制するほか、クーラントをコントロールして、インサート切れ刃すくい面へ流すことで、切りくずを効率良く排出する。

インサートは大きなすくい角とチタン合金加工に最適な刃先処理で、低切削抵抗でかつ耐欠損性に優れる。インサート材種には「MP9140」を採用し、耐欠損性に優れた超硬合金母材と耐溶着性に優れた被膜を融合した。

新たに追加したチタン合金加工用カッタ「ASPXシリーズ」HSK一体形は2アイテム。

標準価格は、先の通り。

ASPX4R0805H100A127SA

680,000円(税込 価格 748,000円)。

ASPX4R0805H125A127SA

820,000円(税込 価格 902,000円)。



YouTube

■商品の詳細は、三菱マテリアル 加工事業カンパニー → <http://carbide.mmc.co.jp>